様式３（2020.08改）

作成日　令和　5年　3 月　20 日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393100272
事業所名	グループホームめぐらす小川

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	町内会に加入し、地域情報を得ている。 コロナ禍で中止されていたボランティアの受け入れを再開しており、マジックショーをすでに演じてもらっている。今後、演奏会やメイクアップ教室などの予定もある。 地域行事への参加、施設行事へ近隣の人を誘うことを今後やっていくつもりである。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は年に6回開いており、今年度はやむを得ず書面開催になった回もあるが、対面で開催することも3回できた。利用者家族、町内会長、副会長、行政からの参加も得られており、施設行事や取り組みを知ってもらう機会としている。 また質問や意見があれば社内で共有し、回答するようにしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	運営推進会議や、書類提出を通して担当者との関係を築き、連携をとっている。研修の案内をもらっている。また安城市のグループホーム連絡会に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	不定期ではあるが、事業所だよりを制作し、家族へ配布している。今後は定期発行を考えている。 家族が来所した時には必ず意見や要望を聞くようにしており、得られた情報は職員間だけではなく社内で共有している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総　合　評　価		○

備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	—	×	○								